

に早めなければならないというふうに感じてございます。そういったふうな来年度に向けて年末ぐらいまでにはとにかく形をつくって営業していくような形でないととてもまた来年のものに間に合わないというふうなことが感じてございます。そういったものを含めてインターネットを通した情報発信力というふうなものが強化が必要だろうなというふうに感じておるところでございます。さくらに始まりまして、つつじまでご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

鈴木悟司議員の質問

○佐々木謙二議長 次に、順位6番、議席番号2番、鈴木悟司議員。

(2番鈴木悟司議員登壇)

+ ○2番 鈴木悟司議員 おはようございます。

質問に入る前に、私の前の谷口議員の質問が多岐にわたってありまして、私の質問内容と重複する部分はかなりございますので、当局からは簡潔明瞭なご答弁をお願い申し上げたいと思っております。

さて、長井市の観光事業の取り組みについてお伺いいたします。

その中で重点事業として考えられるのは、一つに花を中心とした観光事業の推進だと思えます。4月の置賜さくら回廊に始まり、5月の白つつじまつり、そしてあす、6月10日よりあやめまつりが開催されます。これから開催されるあやめまつりには、おもてなしの心で観光客の皆様をお迎えし、長井市のよさをより大きく宣伝していただきたいと思っております。

まずは4月から5月にかけて行われた置賜さくら回廊と白つつじまつりの実施状況についてどうだったのか、商工観光課長にお伺いいたし

ます。

置賜さくら回廊の観光客数の実績を見てみますと、平成17年が9万人、平成18年度が17万8,000人、平成19年度が15万9,000人のようです。具体的な数字でご説明いただければと思っております。特に久保ザクラに来られた観光客の数とバスの台数や車の台数がわかればご説明をお願い申し上げます。

同様に白つつじまつりの実績は、平成17年が14万8,000人、平成18年が11万5,000人、平成19年が12万人ということでしたが、この実績は黒獅子まつりを含んだ実績なのか、お伺いいたします。

次にですが、伝統と資源を生かした観光事業についてです。これはながい黒獅子まつりとなが水まつりが中心になる事業ですが、特にながい黒獅子まつりはことしで19回を数え、内外に知名度が上がっており、数多くの観光客に来ていただいているようです。今年度は終わっただけですが、ぜひ来年の20回記念に向けて反省点を出して、すぐにでも動いていただきたいと思っております。

商工観光課長には、今回の黒獅子まつりの実施状況についてお伺いいたします。

そして内谷市長につきましても20回記念に向けてのお考え方をお伺いしたいと思っております。

ながい水まつりについては、事業所の協賛金と市民協力金が大きなウエートを占めているようですが、現在の非常に厳しい経済状態で花火大会は続けていけるのか心配でございます。今後の状況についてわかる範囲でお聞かせください。これについても商工観光課長にお伺いいたします。

次に、観光宣伝と観光客誘致についてです。市内の商店街やさまざまな組織の方々が観光PRや観光客を呼び込もうと頑張っておられます。「千二百年桜」「春の淡雪 白つつじ」「見さ

あいべ あやめ」ののぼり旗が商店街になびいている光景は、とてもよい演出だと思います。

ただ、市外や県外に対してのPRはまだまだ足りないのではないのでしょうか。ぜひ長井の黒獅子を使って県内外にPRをしていただき、観光客の誘致につなげていただきたいと思います。

他の市町村などで黒獅子を見せてほしいという要請などは来ていないのでしょうか。その場合には市から助成などはできるのか、内谷市長にお考えをお伺いいたします。

2つ目の質問ですが、住宅用火災警報器の設置についてです。

新築の住宅には設置が義務化されており、既存の住宅も2011年までには設置しなければならないわけですが、なかなか進んでいないのではないのでしょうか。年明け早々には、お年寄りが火災で亡くなるということがございました。アパートのひとり暮らしだったと思います。ましてお年寄りの場合は、身体能力が衰えて通常でも素早い動きができなくなっている場合が少なくありません。こうしたことが焼死者の6割が高齢者という現実だそうです。先月、小国町で高齢者夫婦の家で住宅用火災警報器が鳴っているのに隣の住民が気づき、初期消火に当たって延焼を防いだということがございました。お隣の方は、「お年寄りだけなので日ごろからいろいろと気にかけていた」ということでした。このようなケースもあるわけですので、住宅用火災警報器の普及推進を進めていかなければならないと思います。

ましてや同じ西置賜行政組合の白鷹町では、75歳以上でひとり暮らしの世帯に無償で設置しているようですが、長井市として何らかの対応はできないのか消防主幹にお伺いするとともに、内谷市長にもご返答いただきたいと思います。

簡単でございますが、2点についてご質問を申し上げて、壇上からの質問といたします。ご清聴ありがとうございました。（拍手）

○佐々木謙二議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 鈴木悟司議員のご質問にお答えいたします。

私への質問は3点かと思いますが、順次お答え申し上げます。

まず最初の観光事業の取り組みについて、黒獅子まつりの20回記念大会に向けた考え方ということでございますが、さきの谷口議員のご質問にもお答えいたしました。基本的には観光協会の方に委託事業としてお願いしてございまして、その中で観光協会の皆さんが独自に実行委員会を結成いたしまして、あり方についてご検討なさるということでございますので、私の方からは商工観光課長を通じて長井市としてお願いはしてまいりたいと思いますけれども、基本的にはやはり観光協会の考え方がまず一つあるということ。

それと市としてお願いするとしたら、事前に今までと違った形であるかどうかを検討して観光協会の方にご相談しなきゃいけないというふうに思っております。

三、四年前だったと思いますけれども、市制50周年のときだったと思いますが、2日間にわたりまして黒獅子まつりを実施したときがございました。その際は川西と飯豊の方からお招きして2日間にわたって行ったということがございました。

そういったやり方も一つはあると思いますし、また私といたしましては、谷口議員のご質問にもあったんですが、長井のお祭りは多岐にわたって非常にそういう意味では市民の皆様にも、あるいは内外から、外からのお客様にも喜んでいただいているわけでございますが、代表的なお祭りというのは何なんだといえますと、やはり短い時間でのイベントしかございません。水まつりも日中から行っておりますけれども、やはり半日の祭りですし、それから黒獅子まつりも夕方から夜にかけての祭りでございます。ほかの

+

自治体で行っているお祭りなんかを見てみますと、2日ないし3日かけて大々的に行ってるというあり方、それと参加型のお祭り、ただ見るだけでなく、そういったあり方も必要だというふうに思いますので、それらも含めて今後検討してまいりたいと思います。

2点目の他の市町村で黒獅子を見せてほしいという要請は来てないか、その場合には市から助成などはできるのかということについてですが、これにつきましては商工観光課長の方で具体的にそういった事例があったかは答えさせますが、私は市を通して来たものと、例えば物産市、江戸川の区民まつりであったり、あるいは関東致芳会ですね、そういったところの出演は通してあったというふうに思いますし、それは直接観光協会の方にあったのかもしれませんが、今までもあったと思います。黒獅子舞が全国各地から声をかけていただくということは長井のPRをしていただく上で大変ありがたいことだと思いますけども、その対応、支援についてはやはりケース・バイ・ケースじゃないかというふうに思います。やはり20人から30人ぐらいの人が行くわけですので、多額の経費がかかります。今までは大体招く側の方である程度予算化して、この条件で来ていただけないかというふうに獅子連を始め観光協会等々に依頼があったものというふうに認識しております。これから市の方で助成ということですが、それについてはやはりケース・バイ・ケースだとは思いますが、基本的に補助できるような財政状況にないと私は思っております。やり方としては、年間例えばPR経費として観光協会の方に市の方から委託として幾らかの予算をつけて、観光協会を通して依頼に合ったものについては予算の範囲内で出演するというやり方もあるかもしれませんが、やはり基本的にはできれば呼んでいただくところにご負担いただきたいというふうに思っております。

す。

3点目でございますが、これは住宅用火災警報器の設置についてでございますけども、これも後ほど詳しいことは消防主幹の方から答弁させますが、平成16年に消防法の一部改正により戸建て住宅あるいは共同住宅に設置義務が付されたということでございます。

長井市内の現在の設置率が9,760世帯のうちの596世帯、6.1%と非常に低い状況になっております。昨年の防災フェスタというのが西置賜行政組合の消防本部であったわけでございますけども、昨年夏です、そのときのいろんな状況等も聞いてみますと、あるいは共同購入ということで地区長さんの方に消防の方からも、消防主幹の方からもお願いもさせていただきました。いろいろお伺いしてみますと、購入する方はもちろんまだまだ少ないわけですが、購入されても設置するのがなかなか難しいということで、設置の協力もしてあげないとひとり暮らしの高齢者の皆さんには難しいのかなというふうに思っております。私は、基本的にこれは行政だけではかなり難しい部分ありますし、あるいは白鷹町のように無償で提供するというやり方も今の時点で、もう16年に始めてるわけですから、自主的に設置された方に対しても不平等でございますので、やはりこれは無償で提供ということじゃなくて、できれば地区長連合会の方にも相談させていただいて、長井市全域で一斉に共同購入してもらえないかと。隣組回覧等々でしていただく。それによりまして相当安価な値段になる可能性が高いですし、鶴岡市あたりでは1個1,000円の補助しておりますが、大体値段が3,000円から4,000円ぐらいでございますので、共同購入することによってそのぐらいの効果が出てくるんじゃないかというふうに思っておりますし、あと地区長会の皆様と消防団の方にご協力お願いして、購入された方で自分で設置できない、何とか協力してほしいとい

う方には消防団員の皆さんに設置をお願いするとか、そういった連携を図った取り組みが必要なのではないかなというふうに思っております。いずれにしても6%ということ非常に低く、議員ご指摘のとおり、ことしは痛ましい事故もあったわけですので、ぜひ年度内にそういった行動できるように地区長連合会始め関係者の皆様にご相談申し上げたいというふうに思います。

以上でございます。

○佐々木謙二議長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 お答えいたします。

まず1点目の観光客数等々の詳細の数字的な内容でございますが、伊佐沢の久保の桜につきましてはバスが717台、それから一般車台数が3万7,500台でございます。バス台数につきましては19年度比で99%でございますが、一般車につきましては5.6%の増でございます。

草岡の大明神につきましては、バス台数が3割ほどふえまして273台、それから一般車台数につきましても約4割ふえまして9,372台というふうな状況でございます。

それから白つつじまつりの実績12万人の中に黒獅子まつり等を含んだ数字なのかというふうなことでございますが、黒獅子まつり、それからあら町レトロも含めた数字で県に報告している数字でございます。

次に、今回の黒獅子まつりの実施状況についてというふうなことでございますが、今年度「長井の心」伝統文化発表会ということで午後4時から市内の3小学校の獅子踊り等を発表していただきまして、黒獅子まつり参加神社につきましてはことし13社ございました。

内容等につきましては、先ほどお話をさせていただきましたんですが、補足をさせていただきますとJANさんの方でライブ中継というのをやっておられますが、その際のアクセス数が通常の5倍ぐらいふえたというふうなこと、そ

れからその映像を東京の親戚に送ってやりたいとかというふうなそういったふうな声もあったというふうなことで、そういったものも含めて喜んでいただけたのかなというふうな感想を持ってございます。

それからながい水まつりについての今後の状況についてということでございますが、長期的な部分につきましてはのお答えをできるものは持ってございませんが、今年度につきましては近々関係する団体の方に集まっていたいて水まつりの自体的内容の検討あるいは調整を行うというふうなことで観光協会の方で動いていただいております。

ただ、先ほどの市長のお話もそうなんです、若い人たちがあれぐらい浴衣姿で集まってくるというふうなことの状況を見ますとそういったふうな元気のある祭りはあってほしいなというふうなこと、可能性としては最上川文化回廊の県の方で進めている世界遺産についてのアピール性というふうなところからも継続して考えていくのがうれしいかなというふうなことでは考えてございます。

それから他の市町村からの黒獅子の発表の引き合いというふうなことですが、私がこちらの方に参りましてからは具体的にはその話は聞いてございません。

ただ、板橋区の「とれたて村」あたりでは物販と絡ませてイベントをやってほしいというふうなことで何かできないかというふうなことの問い合わせはあります。その中では剣玉等をやっていただくような方を東京の中で調達をするとかというふうなこともございました。黒獅子をというふうなことで私の方ではちょっと聞いていない状況でございます。

以上です。

○佐々木謙二議長 矢久保 浩消防主幹。

○矢久保 浩消防主幹 おはようございます。

ただいま鈴木悟司議員の質問についてでござ

いますが、住宅用火災警報器の普及状況並びにその普及推進並びに市としての公的支援についてというご質問だったと思いますので、その点についてお答えを申し上げたいと思います。

住宅火災警報器は、家庭内での火災をいち早く知り、初期消火、または安全な場所に避難することで逃げおくれを防ぐ目的で義務づけられたものでございます。

平成18年の消防庁の統計では、建物火災の約6割が住宅から発生いたしまして、そしてその死者につきましては建物火災の死者数の約9割が住宅火災から発生しておる状況でございます。その死者数の半数がただいま議員のご指摘にもあったように65歳以上の高齢者となっているところでございます。

先ほど議員からありましたように、長井市でもことし1月、3名の方が火災で亡くなりました。うち2名が65歳以上の方でございます。

これも質問内容にありましたように、6月4日、新聞紙上にも掲載されました小国町での80歳代の高齢者ご夫妻2人暮らしの住宅から火災が発生いたしまして、設置されてありました住宅用火災警報器の警報音をお隣のご家族が気づき、そのご家族が連携して119番通報、初期消火を行って火災の拡大を未然に防いだというものでございました。

平成20年4月1日現在の長井市の65歳以上単身老人世帯につきましては現在818世帯、ご夫婦など65歳以上の高齢者世帯は1,668世帯となっております。お年寄り世帯につきましては、先ほどありましたように身体機能の衰えなどにより素早い動きができにくくなってきているお年寄りが少なくないというふうなことで、一秒でも早く火災の発生を知り、安全な場所に避難する必要があると思いますし、そのためにも住宅用火災警報器は早期に設置する必要があると思います。

ただいま市長の方からありましたように、

平成16年消防法の一部改正、それを受けまして西置賜行政組合火災予防条例が18年6月1日に施行されました。それ以前から組合または消防団ともに広報紙、新聞紙上への掲載、各地区単位に、または自主防災会等々において説明会を行ってきたところでございます。まだまだPR不足により各家庭までは浸透されていないことや既存住宅への設置については平成23年5月31日まで猶予がございます。そんなこともありまして普及率が上がってない状況でございます。

先ほど市長からもありましたように、長井市の設置率でございますけれども、西置賜行政組合消防本部の調べでは市内9地区で共同購入された世帯数と平成18年6月1日、条例施行以来新築なされた世帯数、そうした形のものを押さえているところでございますけれども、またそのほかご家庭が独自で購入された、そういったものは掌握されてない状況でございますけれども、そんなところで6.1%と低い状況になっております。

さきに申し上げましたとおり、1月に3名の方が火災により亡くなられたということも踏まえまして、ことしの2月に長井市内6地区の地区長会の方にも出席させていただきまして、地区ごとの共同購入について設置率の向上を図るために説明会を開催させていただきました。

また、5月には市報の発刊日に、これも早期設置促進に向けてチラシの全戸配布を行ったところでございます。

そういった影響も受けてか市民の皆様からの問い合わせまたは消防本部の方にもおいでいただく方が多くなってきている現状でございます。

今後も市民の皆さんが安全・安心して暮らしていただくためにも引き続き積極的に各地域のイベントまたは総会、会議などに出向きまして早期設置促進を呼びかけてまいりますとともに、先ほどありましたようにできるだけ多くの方が共同でご購入なされることによって安価になる

こともございます。

また、これも市長からありましたように障害をお持ちの方やご高齢の方でどうしても自分では取りつけられないというような世帯につきましては消防職団員または地域の皆様方のご協力を得ながらそういった支援をしてまいりたいというふうに思っているところでございます。

そうした形でございますので、よろしくご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

○佐々木謙二議長 2番、鈴木悟司議員。

○2番 鈴木悟司議員 どうもありがとうございます。

それでは再質問になりますけれども、まずはさくら回廊の時期、本当に長井にはかなりの観光バスと、あと観光客の乗用車入ってくるわけですけれども、駐車料金とか協力金という名目である程度いただけないものなのかなというふうに思っております。白鷹では何かいただいているという話をお聞きしたんですけれども、そういうものもある程度協力金名目でいただくような形をできるだけやっぱりとって行って、経費は経費としていろんな意味でかかっているわけですので、ボランティアにしろたくさんの方が関わっているわけですので、やっぱりそういうことが、環境税的な目的もあるかもしれませんけれども、どのようにお考えなのか、商工観光課長、よろしくをお願いします。

○佐々木謙二議長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 お答えいたします。

さくら回廊の時期につきましては、久保の桜の方で協力金ということで箱を置かせていただいております。白鷹町につきましては、駐車場のところで職員を置いて、そこで決まった金額を出していただくというふうな形になっております。それに対して長井市の方は、幾らでもいいですというふうなことで協力をお願いしている状況がございます。

まず1点目ですが、駐車場料金というふうな

ことでお願いをするというのは、今の状況から考えると難しいふうに感じているところでございます。今の駐車場等の整備状況からいきますと、ちょっと難しいかなというふうに感じてございます。

協力金につきましては、昨年度45万円ぐらいでございましたですが、今年度130万円を超えるご協力をいただいております。私も何回か立ちましたですが、最初入ってくる際には素通りをしていかれます。久保の桜を見られて帰られる際に置いていかれます。それは協力金としてお願いをしている私どもの趣旨を踏まえて、「久保の桜を見せていただいてうれしかった。頑張ってください」というふうなそういったふうな気持ちのあらわれなんでないかなというふうな感じがしてます。金額を上げるためにどういったふうな方策があるかというふうなことは検討をしなければなりません。ただ、今の段階では今年度久保の桜でやりましたそういったふうな気持ちをつなげていくような形の協力金というのも考え方として大事に持っていたいなというふうに感じたところでございます。

○佐々木謙二議長 2番、鈴木悟司議員。

○2番 鈴木悟司議員 ありがとうございます。

非常にやっぱり観光客の気持ちを考えてそのような形にしているかとは思いますが、今後いろいろさまざまな形で考えていただきたいと思います。

次にですけれども、つつじまつりの時期なんですけれども、この時期は5月ということで花や野菜、あと木を一番みんな植える時期なんですね。家庭にも植えるという、そういうところで特に山形では薬師まつり、非常に大きな植木市があります。この植木市には3日間で店が500店で40万人の人が来るといいます。まねごとでもいいですから、こういったことをちょうどいい時期だと思いますので、駐車場の一角なりどっかを使ってできないものかなというふうに私は思

+

ってるんですけども、ましてや長井や飯豊町には花の生産者もたくさんおります。ぜひそういう方々からの協力を得ていっぱいの花を並べて来ていただくというような、薬師まつりには劣るかもしれませんが、集客力はかなりあると思うんですけども、その辺商工観光課長、お考えはどうか、よろしくをお願いします。

○佐々木謙二議長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 今、議員の方から山形の薬師まつりあるいはそれに似たような形の花の販売会というんでしょうか、そういったふうなものを考えてはどうかというふうなことでございますが、ことしつづじまつりの際にはあら町レトロというふうなことでやったわけでございます。それはつづじ公園を中心とした長井市にとってのベースのあるものというものをとにかく1回表現をしなければならないだろう、形にしなければならないだろうというふうなことで取り組んだところでございます。これからの部分で、やはり白つづじまつりの期間においてどういうふうになれば商売になるのかというふうなことを考えていかないといけないなというふうな感じはしています。その際に花卉生産組合の方々のようなものが適当なのかどうかというふうなことはこれから考えたいというふうに思います。

ただ、やはり必要なのは1カ月間だったら1カ月間の中でどうやって商売をすることができるかというふうなことをとにかく事業者の皆さん方にも一緒に考えていただきたいなというふうなことをお願いしたいなというふうに思っております。

○佐々木謙二議長 2番、鈴木悟司議員。

○2番 鈴木悟司議員 なかなか1カ月間そこに店を出しとけというのは非常にそれは大変なことだと思いますので、薬師まつりでさえ3日間でございますので、1日、2日、土日とかそういう部分でやっぱりいろんな多彩なイベントを

やっていくことは必要かと思っておりますので、ぜひご検討いただきたいと思います。

次にですけども、黒獅子のことでちょっとお聞きしたいんですけども、あくまでも観光協会への委託という形で事業はされているわけですけども、私も神社の今回会計をさせていただきまして、黒獅子に参加するかしないか、非常に迷って参加させていただきました。私よりもっと若い人たちからは「ぜひ参加したい」というふうな、「獅子を振りたい」という意見がたくさん出ます。お金を扱った私からすると赤字になってまでというふうな、なかなか「じゃあ」というふうな踏み切れない部分があることもしもありました。その部分は実行委員会の中で「去年の黒獅子は100万円の赤字を出した」ということを各神社にその実行委員会の中で言われたんですね。観光協会の事務局の方かと思っておりますけども、そういったことを神社に対して言われたことは非常によくなかったのではないかと。

せっかく各神社の皆さんが黒獅子を盛り上げようということでぜひたくさん参加したいということでいたわけなんですけども、「去年は赤字だった。そしてことしは120万円しかない」ということで各神社に言われまして、結局は13社の参加だったわけなんですけども、最初から出るなというような雰囲気になってしまったんですね。それを自分たちの神社に持ち帰ってその話を若い人たちにしなければならないという、それは非常にやっぱり残念な対応だったのではないかとと思っておりますので、ことしはその部分は何とか13社で分けたわけなんですけども、基本的には会計してる私がしましたけども、やっぱり赤字でございます。我が神社も約45名ぐらいの人たちを連れて、それに3日間練習をして取り組んでおりますので、赤字覚悟でやっております。でもやっぱりみんなで黒獅子を盛り上げようということで取り組んでるので、ぜひやっぱり来年の20回記念に際してはもう今からどういう形で

やるんだということをしかり市長が先頭に立って言っていただきながら進めてほしいというふうに思っております。

それとあと細かい部分になるかと思うんですけど、やっぱり時間制限が余りにもありまして、本当につつじ公園で振れたのが15分しかなかった。かなりの細かいタイムスケジュールの中で動かさなければならない。本来の黒獅子のきちとした形などがあるわけですけども、それを無視しながら振っているというのが現状です。ぜひ余裕を持って来年は振れるような形に今からご検討いただければなというふうに思っております。もし市長、ちょっとその辺でご意見お伺いしたいんですけども。

○佐々木謙二議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

鈴木議員がご指摘のとおり、黒獅子まつりに参加されるというのは大変経費がかかることだということは承知しております。しかも語弊あるかもしれませんが、例えば中央地区の黒獅子と平野とか西根等々そういったところでは若干条件が違う。それは何かといいますと、人が移動しなきゃいけませんので、マイクロバスを借り上げしたり、あるいはこれは中央地区も共通ですけども、クリーニング代かかったり、あと当然みんなボランティアで参加いただくわけですので、その後、反省会もしなきゃなりません。そういった意味では大変だと思います。

観光協会の方で100万円の赤字だったということは、その内容については残念ながら、市の方では理事として商工観光課長は入っておりますけども、あくまでも意見申し上げるだけで、観光協会で決定されておりますので、ですから当初委託事業する際にやっぱりきちんと中身についてはある程度こちらでも申し上げていかなければならないのかなというふうに思っています。

ことしもそうだと思いますが、観光協会の方

で水まつりの寄附金を大変苦勞されて寄附を集めていただいているわけでございますけども、3年前ぐらいから集めていて、水まつりの剰余金という形ではないんでしょうけども、少しでも節約して、その部分で黒獅子まつりの方に経費をかけているんだということは聞いたことがあります。そういった形でしていただいているんですが、やはりこれからは、20回目は別としてもやっぱり出演していただく神社の数を予算の範囲内でやっていくしかないんじゃないかなと思いますし、委託事業として観光協会にやってるお金は税金でございまして、ですからその税金の部分というのがやっぱり市民の皆さんに楽しんでいただくためのお金として考えてるわけですね。そんなこともご理解いただいて、その金額をこれからどどんふやすということは基本的に難しいだろうというふうに思いますし、どういふ方法がいいのかはぜひ議員からも観光協会の方に申し上げていただいたり、あるいは私どもも観光協会の三役とも打ち合わせというのはことしも1回もありませんので、ぜひこちらからお願いして申し上げていかなければならないのかなというふうに思っております。

いずれにしても黒獅子まつりは、中央地区の地区長会の皆様、それから安協の皆様、当然市の管理職も当日出たり、あるいは小中学校のいろんなPTAの役員の皆さんも出て、警察の協力を得てやってる大変な事業でございまして、議員のご意見なども十分に反映するような、みんな喜んでいただけるようなそんな祭りにしてまいりたいと思います。

○佐々木謙二議長 2番、鈴木悟司議員。

○2番 鈴木悟司議員 ぜひよろしくその辺はお願い申し上げたいと思います。

ただ、ちょっとえらい観光協会の問題だと思いますけども、19年度の事業計画そのものがちょっとおかしかったのかなと、私も総会資料、17年、18年、19年すべて見せていただきました

+

けども、本来協賛金130万円というふうな事業計画にあるものが結局決算では全くないという決算を出しておられましたので、やっぱり適切な指導をしていただかないと、トータルでは繰越金がたくさんあったようですので、よかったみたいなんですけども、やはり一つ一つ事業をきちっと精査していただけるような体制をとっていただければなというふうに思っております。観客と振り手が双方楽しめる祭りを目指していただきたいと思っております。

あと今回花場をつくったわけですけども、花場の収入というのはどれくらい上がったものなのか、商工観光課長、わかればお願いします。

○佐々木謙二議長 齋藤理喜夫商工観光課長。

○齋藤理喜夫商工観光課長 お答えいたします。

24万3,000円ほどというふうなことでございました。

○佐々木謙二議長 2番、鈴木悟司議員。

○2番 鈴木悟司議員 もっとあるのかなと思っただんですけども、あと各獅子がそのままお花をいただくという部分もたくさんあると思いますので、花場に直接というふうに風習はまだなかなかなじんでないのかなというように思いますが、もっとそこの辺を来年はPRしていただきたいなというふうに思います。

特に来年の20周年に向けてなんですけども、やっぱり今は夜しかやってないわけですけども、ぜひもし1日でやるのであればやっぱり昼の部もあったり夜の部もあったりという形をとってあげば、特に昼の部なんかは観光客、遠くから来られた方、あともうツアーにその部分を組んでいただくという、観光会社に、というスケジュールも立てられるのではないかと思いますので、ぜひ私も観光協会の方には言っていきたいと思っておりますので、ご検討いただきたいと思っております。

あとなかなか市長も観光協会の役員の方とお話する機会がないという話ですけども、事務

局さんは道路許可の申請なんかも偉い方と一緒に警察と交渉しているという話をされたんですけども、市長は行ったことはございますでしょうか。

○佐々木謙二議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

警察の方には道路許可では行っておりません。大体観光協会の方で専務理事とかが、多分事務局長がなさってるのじゃないかなと思います。

いずれにしても観光協会も大変苦勞してると思います。少ないマンパワーで理事の皆さんがボランティアでなさってるわけですから、もう少し行政側としても観光協会にいろんな形で応援をしなきゃいけないんでしょうけども、いずれにしろ力を合わせてまいりたいと思っております。

○佐々木謙二議長 2番、鈴木悟司議員。

○2番 鈴木悟司議員 ぜひよろしくお願ひしたいと思っております。

あと先ほど質問した黒獅子の来てくれるところはというふうになのかということでしたけども、直接私どもに来られた方がおられまして、それは喜多方市の獅子舞フェスティバルを主催されている方でございました。かなりいろんな神社の方々にお話を持ちかけていたようで、「ぜひ来てくれないか」という話をされていかれました。名刺も置かれて、あと結構スケジュール表なんかも置いていかれたんですけども、ただなかなか時期が9月の第1週ということで、やっぱりこの祭りもほとんどその辺一帯に時期にあるということで、「この時期はなかなか行けないんじゃないか」という話もしたんですけども、「バス代は出します。あと出演料5万円出します」という話で持ちかけられました。

「いや、それでもなかなか厳しいな」という話はしたんですけども、でもやっぱり長井の観光をPRするとか、あと今度喜多方からも観光客を呼ぶという部分で考えればぜひ私たちも行っ

てみたいという話はしておりますので、そこで何らかの助成なりがあれば行けるんじゃないかなというふうには私たちも思っております。そういう話があったということで、商工観光課長にも後で資料もお渡しいたしますので、ぜひ1回喜多方にも行ってみたりして交流を図ればなというふうに思っておりますので、ご協力をお願いをしたいと思います。

最後になりますけれども、火災報知器については煙と熱を感知する2種類があって、やはりそのつけ方もなかなかわからない。私どもでさえもなかなかそちらにじゃあすぐお金を回そうかというふうに家計的にいかないのが現実なのかなというふうに思います。やっぱりぜひ共同購入で本当に幾らかでも安く買えるように地区長会なりでご指導いただきまして、本来であればやっぱりお年寄り非常に、818世帯なり、あと2人暮らしは1,668世帯、何とか早急に取りつけができるようにご尽力いただきたいなというふうに思います。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。

○佐々木謙二議長 以上で一般質問は全部終了いたしました。

散 会

○佐々木謙二議長 本日は、これをもって散会いたします。

ご協力ありがとうございました。

午前11時53分 散会